

## 研究課題別事後評価結果

1．研究課題名： 棍棒型ミクログリアの神経変性における機能解析

2．個人研究者名

橋本 翔子 （滋賀医科大学 創発的研究センター 特任准教授）

3．事後評価結果

脳の萎縮に先行して現れる、棍棒型ミクログリアに着目し、その機能や脳萎縮における役割を解明しようとするユニークな研究である。網羅的な発現解析を中心に、目標とするミクログリアの特徴を探り、それが DAM (disease associated microglia) 様の活性化ミクログリアであることを示唆する結果を得た。神経細胞からのなんらかのシグナルがその活性化に関わっているのではないか、という仮説を検証しようとしており、その発展性も期待される。論文発表や講演などの実績もあり、活動の場を広げている。